

交通安全情報 62 (平成29年10月17日号)

車のヘッドライトは、暗い道を走っているときなくてはならないものです。車には、通常ロービーム・ハイビームが備え付けられていて、道路運送車両法等で、ロービームは約40m先のもの、ハイビームは約100m先のものを照らすことができるようにと定められています。

しかし夜間において、ドライバーから確認できる歩行者等は（ロービーム時）、明るい色の服装で約50m、黒っぽい服装で約30mまで近づかなくては発見できないといわれています。

夕暮れ夜間の安全

●運転者の皆さん

ロービームとハイビームのこまめな使い分けを行い走行しましょう。交差点付近では、スピードを落とし歩行者や自転車に注意しましょう。

●歩行者・自転車の皆さん

明るい服装を心がけ、相手にいち早く自分の存在を知らせるため、夜光反射材や自発光型のライトを携帯しましょう。

近くに横断歩道があれば、そこをまっすぐ渡るようにしましょう。

周りが明るくても、自転車は必ずライトをつけましょう。

「ライトは自分が見るためのもの」だけではありません
相手に気づいてもらうためにも必要なのです ✨

大切なのは安全確認！

どんなにスピードを落としていても、安全確認を怠れば交通事故をおこす危険性があります。

人通りが少ない生活道路や通りなれた自宅付近こそ、自転車や歩行者の飛び出しや交差点での出会い頭事故に十分気を付けていきましょう。

